



成田国際空港に設置された受信装置
(成田国際空港駐機場(写真下))

成田国際空港様と中部国際空港様で 緊急地震速報スタート!

成田国際空港様(以下、敬称略)と中部国際空港様(以下、敬称略)では、今年4月よりQCAST®シリーズを利用した緊急地震速報の運用が開始されました。

成田国際空港は、受信装置5台、受信ユニット7台、表示器9台。中部国際空港は、受信装置1台、受信ユニット3台という構成になっています。

両空港とも、空港内の気象台から分岐を受ける形で、館内放送と連動されており、旅客ターミナルを中心とした利用者に震度5弱以上の地震でアナウンスされる仕組みとなっています。アナウンスは、外国の方にも伝達される様に、日本語と英語で発信。地震速報を英語で流すのは、他に例が無く初の試みのようです。

また、空港利用者への注意喚起以外に、ターミナルビルに入居する飲食店でも、大きな揺れが来る前に火を消すなどの効果も期待されています。

明星電気のQCAST®シリーズは、地震防災・減災に対する様々なお客先のニーズにお応え致します。



MMSイメージ画

米国衛星搭載機器の開発に着手!

明星電気は、アメリカ国立航空宇宙局・ゴダード宇宙飛行センター/サウスウエスト研究所様から受注した米国衛星(MMS)に搭載されるDual Ion spectrometer(DIS 粒子観測機)の本格的な開発に着手することになりました。

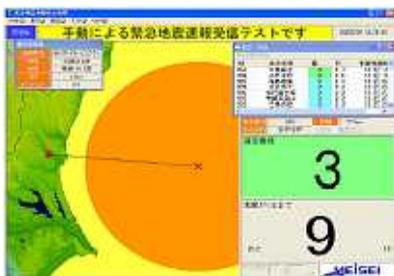
DISにより、地球の磁気圏の観測を行います。

4月23~25日には、米国から品質管理、プロジェクトマネージャーミッション担当の方が来日し、部品受入から宇宙製品を製造、検査、試験するクリーンルームの施設から品質管理書類までの監査が実施されました。

監査結果は、「excellent(優良)」を頂き、また並行して実施されていた技術調整会についても、無事終了しました。

開発は、今年度から着手され、最終的には2010年から2年半かけてフライトモデル(FM)を計16台製作し米国へ出荷の予定です。

なお、打上げはケネディ宇宙センターから2014年を予定しています。



5/8茨城県沖地震の高度利用者向け配信
(第一報)による推定結果
(QCAST®受信装置によるシミュレーション画面)

QCAST®シリーズ製品がお伝えする緊急地震速報 「高度利用者向け配信」は間に合いました!

4月28日の沖縄県宮古島近海地震及び5月8日茨城県沖地震で、一部報道機関にて「緊急地震速報が間に合わなかった」という趣旨の報道がなされていますが、これは「一般向け緊急地震速報」を利用した情報(放送など)によるものです。

緊急地震速報は、企業などでの利用を目的とした「高度利用者向け(予報)」と「一般向け(警報)」の2種類に分かれます。

茨城県沖地震において「高度利用者向け」は「一般向け」の配信時刻の約4.9秒前に配信されています。その結果、明星電気本社工場のある伊勢崎市では強い揺れの3.7秒前に、震源近い水戸市でも9秒前に速報を発信したと推定されます。

この時間差は、「高度利用者向け」と「一般向け」で発表の基準が異なるためです。

「高度利用者向け」は、マグニチュード3.5以上または最大震度3以上と推定される場合、即座に速報を発信。一方、「一般向け」は、最大震度5弱以上が推定された場合に、震度4以上と推定される地域名が発信されるため、今回地震発生当初に推定された震度が基準以下だったことにより、速報に遅れが生じました。

明星電気はQCAST®シリーズにより、「高度利用者向け緊急地震速報」を利用した迅速かつ安心出来るシステムのご提案を致します。

FROM UNDERWATER TO OUTERSPACE

明星電気は先端技術を活かし、~水中から宇宙まで~をテーマに
人と社会の豊かな未来づくりを目指す世界の総合環境観測システムメーカーです。